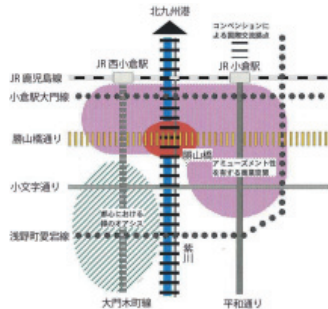


北九州市はJR小倉駅から南側に広がる商業・業務ゾーン、市役所などの行政ゾーンを含む約1km四方の区域を都心地区として位置づけ、その骨格を成す格子状の8本の道路を「花と緑の小倉回廊」と命名し、豊かな緑を有する風格のある道路として、都心のイメージ形成に寄与することで、市の中心軸である紫川の両岸地区を一体的な景観整備の実現を目指してきた。

市は都市整備局、建設局、緑政局のプロジェクトチームをつくり、アプルの作業を支える形で、実施に向けての全体の整備方針づくり、景観構成要素別の方針、路線別の基本計画を取りまとめに一貫して関わってきた。

これを受けて、路線ごとに設計が行われ、実施に移されることで、小倉駅南口広場からつながる駅前の平和通りの景観設計、旧モノレール駅下の意匠設計・光環境演出、紫川光環境演出(ともに協力・LPA)などが連続的につながり、小倉都心部の魅力創出に寄与してきた。



小倉回廊整備計画の概念図



小倉駅南口ベデから望む平和通り



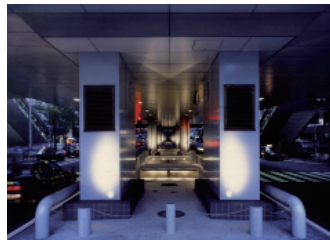
平和通りの歩行者空間整備



モノレール平和通り駅街裏部ライトアップ



モノレール平和通り駅地上部の照明



駅舎柱脚のライトアップ

経緯 花と緑の小倉回廊整備計画策定'95.11～'96.3 北九州市／魚町馬借1号線道路詳細設計'96.9～'97.3 北九州市／魚町馬借1号線中央分離帯詳細設計'98.11～'12 北九州市
担当：中野、萩原、藤本、岩村、熊耳、協力：LPA(面出薫・稲葉裕)